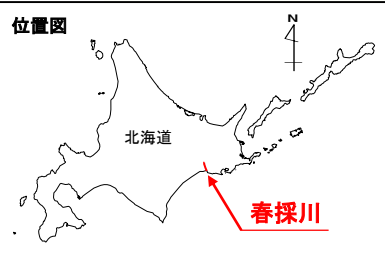


～天然記念物ヒブナが生息する“春採湖”の周辺に広がる閑静な町並みを守る治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、春採川水系においても、事前の防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、既往最大となる降雨で発生する洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・堤防整備、河道掘削
 - ・土砂災害対策(砂防関係施設の整備等)
 - ・下水道の雨水管等の整備
 - ・内水被害軽減対策
 - ・治山施設等の整備

- 被害範囲を減少させるための対策
- ・まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討
 - ・春採川流域に建築する人への災害リスク情報の提供

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・水害対応タイムラインの作成
 - ・重要水防箇所での共同点検
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画作成促進
 - ・関係機関と連携した避難訓練等の実施
 - ・幼少期からの防災教育の実施
 - ・ハザードマップ作成、充実と周知
 - ・水防資機材の充実と情報共有

- 水防資機材の充実・情報共有
- 水害タイムラインの作成・運用等
- 重要水防箇所の共同点検

ハザードマップの作成・充実等

防災教育、避難訓練の実施等

要配慮者施設における避難確保計画の作成促進

下水道雨水管渠等の整備

堤防整備

内水被害軽減対策

土砂災害対策(砂防関係施設の整備等)

河道掘削

水災害の発生頻度等に応じた浸水想定情報の提供等の検討

建築申請者等への災害リスク情報の提供

治水施設等の整備

- 凡例
- 堤防整備
 - 樹木伐開・河道掘削
 - 浸水範囲(平成21年6月洪水実績)
 - 市街地(DID地区)
 - ◁ ▷ 北海道知事管理区間
 - 流域界
 - 市町村界



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。